令和 5 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　佐賀県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	佐賀県医療センター好生館	2
佐賀市	佐賀市立富士大和温泉病院	3
唐津市	唐津市民病院きたはた	4
多久市	多久市立病院	5
小城市	市民病院	6
太良町	町立太良病院	7
伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院	8

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	
病院名	佐賀県医療センター好生館

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		811,442
決算規模（千円）		539,531,062
標準財政規模（千円）		267,714,418
財政力指数		0.34120
経常収支比率（%）		93.9
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.7
	将来負担比率（%）	135.3

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,199			
１ 経常収益	10,199			
（1）医業収益	-			
（うち修正医業収益）	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	10,199			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	10,199			
２ 経常費用	10,199			
（1）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	58.7	51.4
② 材料費	-	-	26.9	32.6
（うち薬品費）	-	-	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.7	13.9
③ 減価償却費	-	-	8.5	7.4
④ 経費	-	-	21.5	16.9
（うち委託料）	-	-	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	10,199			
（うち支払利息）	10,199	-	0.9	0.8
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	-
１ 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	-
１ 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（△）	-
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１ 資本金	-
２ 剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	佐賀市
病院名	佐賀市立富士大和温泉病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	8,392 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	51.6	61.1	64.4
療養	38	29.6	36.7	36.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	43.0	51.7	53.4
平均在院日数（一般病床のみ）		22.0	19.0	19.0

設立団体の状況		
人口 (人)		233,301
決算規模 (千円)		113,055,454
標準財政規模 (千円)		56,033,669
財政力指数		0.63
経常収支比率 (%)		95.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.4
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,262,503			
１ 経常収益	1,262,503			
（1）医業収益	938,019			
（うち修正医業収益）	901,725			
① 入院収益	424,485			
② 外来収益	419,350			
診療収入計	843,835			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	94,184			
（うち他会計負担金）	36,294			
（2）医業外収益	324,484			
（うち国・都道府県補助金）	60,933			
（うち他会計補助・負担金）	181,001			
（うち長期前受金戻入）	75,218			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,422,988			
２ 経常費用	1,422,988			
（1）医業費用	1,348,700			
① 職員給与費	853,782	91.0	58.7	78.7
② 材料費	144,906	15.4	26.9	14.5
（うち薬品費）	113,536	12.1	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	30,182	3.2	11.7	6.1
③ 減価償却費	83,835	8.9	8.5	11.8
④ 経費	255,719	27.3	21.5	32.3
（うち委託料）	127,491	13.6	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	2,415			
⑥ 資産減耗費	8,043			
（2）医業外費用	74,288			
（うち支払利息）	24,949	2.7	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-160,485			
損益 純損益	-160,485			
累積欠損金	-			
経常収支比率	88.7		96.5	96.4
医業収支比率	69.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	66.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	23.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	17.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	73.5		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)

区分	決算額
資産合計	2,875,373
１ 固定資産	1,541,301
（1）有形固定資産	1,541,301
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	1,334,072
（1）現金及び預金	1,165,911
（2）未収金及び未収収益	158,779
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	9,382
３ 繰延資産	-
負債合計	1,832,450
１ 固定負債	1,113,465
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,113,465
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	289,021
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,601
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	53,180
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	61,457
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	429,964
（1）長期前受金	2,714,073
（2）長期前受金収益化累計額（△）	2,284,109
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,042,923
１ 資本金	128,800
２ 剰余金	914,123
（1）資本剰余金	132,232
（2）利益剰余金	781,891
負債・資本合計	2,875,373
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,093	217,295
資本勘定繰入	105,708	110,416
計	321,801	327,711

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	唐津市
病院名	唐津市民病院きたはた

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,573 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	２０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	56	84.8	84.6	80.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	84.8	84.6	80.7
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		117,373
決算規模（千円）		84,417,130
標準財政規模（千円）		34,670,896
財政力指数		0.43
経常収支比率（%）		89.3
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.5
	将来負担比率（%）	111.1

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	689,816			
１ 経常収益	684,712			
（1）医業収益	564,218			
（うち修正医業収益）	524,530			
① 入院収益	360,609			
② 外来収益	139,811			
診療収入計	500,420			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	63,798			
（うち他会計負担金）	39,688			
（2）医業外収益	120,494			
（うち国・都道府県補助金）	92			
（うち他会計補助・負担金）	93,770			
（うち長期前受金戻入）	19,696			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	5,104			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	665,770			
２ 経常費用	660,858			
（1）医業費用	635,584			
① 職員給与費	403,760	71.6	58.7	78.7
② 材料費	54,037	9.6	26.9	14.5
（うち薬品費）	15,619	2.8	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	24,216	4.3	11.7	6.1
③ 減価償却費	46,218	8.2	8.5	11.8
④ 経費	129,962	23.0	21.5	32.3
（うち委託料）	45,491	8.1	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	449			
⑥ 資産減耗費	1,158			
（2）医業外費用	25,274			
（うち支払利息）	7,917	1.4	0.9	1.1
（3）特別損失	4,912			
損益 経常損益	23,854			
損益 純損益	24,046			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.6		96.5	96.4
医業収支比率	88.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	82.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	19.3		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	83.4		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	1,659,715
１ 固定資産	950,656
（1）有形固定資産	942,875
（2）無形固定資産	7,781
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	709,059
（1）現金及び預金	662,534
（2）未収金及び未収収益	45,670
（3）貸倒引当金（△）	1,327
（4）貯蔵品	2,182
３ 繰延資産	-
負債合計	906,887
１ 固定負債	539,890
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,920
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	182,970
（6）リース債務	-
２ 流動負債	136,885
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,307
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	19,853
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	81,873
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	230,112
（1）長期前受金	510,130
（2）長期前受金収益化累計額（△）	280,018
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	752,828
１ 資本金	137,639
２ 剰余金	615,189
（1）資本剰余金	177,223
（2）利益剰余金	437,966
負債・資本合計	1,659,715
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	133,458	133,458
資本勘定繰入	15,214	15,214
計	148,672	148,672

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	多久市
病院名	多久市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,363 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨　災　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	55.8	46.8	49.6
療養	45	44.2	46.9	40.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	50.8	46.8	45.6
平均在院日数（一般病床のみ）		18.7	14.6	15.9

設立団体の状況		
人口 (人)		18,295
決算規模 (千円)		15,800,730
標準財政規模 (千円)		6,476,197
財政力指数		0.35
経常収支比率 (%)		93.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.4
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,269,975			
１ 経常収益	1,269,975			
（１）医業収益	1,050,293			
（うち修正医業収益）	1,010,261			
① 入院収益	570,441			
② 外来収益	422,841			
診療収入計	993,282			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	57,011			
（うち他会計負担金）	40,032			
（２）医業外収益	219,682			
（うち国・都道府県補助金）	32,850			
（うち他会計補助・負担金）	149,998			
（うち長期前受金戻入）	12,496			
（うち資本費繰入収益）	20,235			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,366,049			
２ 経常費用	1,366,049			
（１）医業費用	1,318,678			
① 職員給与費	736,637	70.1	58.7	67.7
② 材料費	282,800	26.9	26.9	18.3
（うち薬品費）	195,819	18.6	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	80,322	7.6	11.7	9.1
③ 減価償却費	61,362	5.8	8.5	10.3
④ 経費	236,044	22.5	21.5	29.4
（うち委託料）	144,569	13.8	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	1,835			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	47,371			
（うち支払利息）	383	-	0.9	1.1
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-96,074			
損益 純損益	-96,074			
累積欠損金	117,005			
経常収支比率	93.0		96.5	95.4
医業収支比率	79.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	76.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.1		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	15.0		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	79.1		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	1,535,214
１ 固定資産	837,794
（１）有形固定資産	837,290
（２）無形固定資産	504
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	697,420
（１）現金及び預金	560,595
（２）未収金及び未収収益	122,929
（３）貸倒引当金（△）	248
（４）貯蔵品	14,144
３ 繰延資産	-
負債合計	547,411
１ 固定負債	262,798
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,550
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	165,712
（６）リース債務	18,536
２ 流動負債	183,760
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,073
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	52,950
（６）リース債務	9,821
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	87,788
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	100,853
（１）長期前受金	278,299
（２）長期前受金収益化累計額（△）	177,446
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	987,803
１ 資本金	1,104,808
２ 剰余金	-117,005
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-117,005
負債・資本合計	1,535,214
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	190,030	190,030
資本勘定繰入	26,026	26,026
計	216,056	216,056

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	11.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	小城市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	5,538 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	99	36.9	31.5	37.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	36.9	31.5	37.5
平均在院日数（一般病床のみ）		14.6	15.2	15.2

設立団体の状況		
人口 (人)		43,952
決算規模 (千円)		23,784,434
標準財政規模 (千円)		12,393,376
財政力指数		0.41
経常収支比率 (%)		95.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.3
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,216,604			
１ 経常収益	1,216,604			
（1）医業収益	797,102			
（うち修正医業収益）	759,111			
① 入院収益	414,945			
② 外来収益	298,160			
診療収入計	713,105			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	83,997			
（うち他会計負担金）	37,991			
（2）医業外収益	419,502			
（うち国・都道府県補助金）	272,477			
（うち他会計補助・負担金）	105,418			
（うち長期前受金戻入）	36,321			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,192,189			
２ 経常費用	1,187,195			
（1）医業費用	1,162,151			
① 職員給与費	713,379	89.5	58.7	78.7
② 材料費	111,610	14.0	26.9	14.5
（うち薬品費）	46,311	5.8	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	62,540	7.8	11.7	6.1
③ 減価償却費	56,749	7.1	8.5	11.8
④ 経費	192,452	24.1	21.5	32.3
（うち委託料）	81,318	10.2	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	87,411			
⑥ 資産減耗費	550			
（2）医業外費用	25,044			
（うち支払利息）	2,191	0.3	0.9	1.1
（3）特別損失	4,994			
損益 経常損益	29,409			
損益 純損益	24,415			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		96.5	96.4
医業収支比率	68.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	65.3		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	18.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	11.8		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	90.4		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	3,257,132
１ 固定資産	533,325
（1）有形固定資産	532,724
（2）無形固定資産	601
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	2,723,807
（1）現金及び預金	2,596,274
（2）未収金及び未収収益	122,378
（3）貸倒引当金（△）	552
（4）貯蔵品	5,707
３ 繰延資産	-
負債合計	662,909
１ 固定負債	366,833
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,757
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	323,445
（6）リース債務	631
２ 流動負債	126,294
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,503
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	54,164
（6）リース債務	3,788
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	47,839
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	169,782
（1）長期前受金	512,185
（2）長期前受金収益化累計額（△）	342,403
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	2,594,223
１ 資本金	1,217,544
２ 剰余金	1,376,679
（1）資本剰余金	77,887
（2）利益剰余金	1,298,792
負債・資本合計	3,257,132
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	143,409	143,409
資本勘定繰入	35,910	19,767
計	179,319	163,176

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	太良町
病院名	町立太良病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,606 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	68.8	70.2	72.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	68.8	70.2	72.8
平均在院日数（一般病床のみ）		15.7	18.2	17.9

設立団体の状況		
人口 (人)		8,121
決算規模 (千円)		7,041,145
標準財政規模 (千円)		3,546,030
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		91.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.0
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,291,475			
１ 経常収益	1,269,943			
（1）医業収益	994,485			
（うち修正医業収益）	956,576			
① 入院収益	619,063			
② 外来収益	298,539			
診療収入計	917,602			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	76,883			
（うち他会計負担金）	37,909			
（2）医業外収益	275,458			
（うち国・都道府県補助金）	275			
（うち他会計補助・負担金）	124,626			
（うち長期前受金戻入）	50,666			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	21,532			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,184,407			
２ 経常費用	1,184,327			
（1）医業費用	1,025,098			
① 職員給与費	610,474	61.4	58.7	78.7
② 材料費	128,969	13.0	26.9	14.5
（うち薬品費）	43,271	4.4	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	85,698	8.6	11.7	6.1
③ 減価償却費	78,798	7.9	8.5	11.8
④ 経費	195,261	19.6	21.5	32.3
（うち委託料）	59,358	6.0	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	2,912			
⑥ 資産減耗費	8,684			
（2）医業外費用	159,229			
（うち支払利息）	19,033	1.9	0.9	1.1
（3）特別損失	80			
損益 経常損益	85,616			
損益 純損益	107,068			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		96.5	96.4
医業収支比率	97.0		86.0	72.4
修正医業収支比率	93.3		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.3		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	12.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	93.5		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	3,776,623
１ 固定資産	1,597,078
（1）有形固定資産	1,597,078
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	2,179,545
（1）現金及び預金	1,999,289
（2）未収金及び未収収益	174,340
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	5,916
３ 繰延資産	-
負債合計	1,854,588
１ 固定負債	1,457,922
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,216,287
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	241,635
（6）リース債務	-
２ 流動負債	189,359
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,279
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	32,512
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	84,835
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	207,307
（1）長期前受金	782,349
（2）長期前受金収益化累計額（△）	575,042
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,922,035
１ 資本金	1,343,814
２ 剰余金	578,221
（1）資本剰余金	47,394
（2）利益剰余金	530,827
負債・資本合計	3,776,623
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,581	162,535
資本勘定繰入	73,541	73,541
計	239,122	236,076

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	佐賀県

市町村・組合名	伊万里・有田地区医療福祉組合
病院名	伊万里有田共立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	17,283 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	26	指定病院の状況	救 臨 感 災 地 輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	202	60.6	69.1	65.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	36.4	28.9	33.8
計	206	60.1	68.3	65.1
平均在院日数（一般病床のみ）		13.5	14.4	13.6

設立団体の状況

人口（人）		-
決算規模（千円）		589
標準財政規模（千円）		-
財政力指数		-
経常収支比率（%）		80.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,871,859			
１ 経常収益	3,869,046			
（１）医業収益	3,357,406			
（うち修正医業収益）	3,215,034			
① 入院収益	2,421,311			
② 外来収益	647,375			
診療収入計	3,068,686			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	288,720			
（うち他会計負担金）	142,372			
（２）医業外収益	511,640			
（うち国・都道府県補助金）	150,172			
（うち他会計補助・負担金）	186,802			
（うち長期前受金戻入）	160,313			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	2,813			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	4,034,834			
２ 経常費用	4,034,834			
（１）医業費用	3,864,762			
① 職員給与費	2,121,603	63.2	58.7	63.9
② 材料費	617,234	18.4	26.9	21.1
（うち薬品費）	283,053	8.4	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	329,981	9.8	11.7	10.2
③ 減価償却費	226,532	6.7	8.5	9.3
④ 経費	886,529	26.4	21.5	28.2
（うち委託料）	512,601	15.3	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	10,154			
⑥ 資産減耗費	2,710			
（２）医業外費用	170,072			
（うち支払利息）	34,880	1.0	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-165,788			
損益 純損益	-162,975			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.9		96.5	93.2
医業収支比率	86.9		86.0	81.2
修正医業収支比率	83.2		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	8.5		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	87.7		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	7,096,662
１ 固定資産	4,584,124
（１）有形固定資産	4,387,967
（２）無形固定資産	5,126
（３）投資その他の資産	191,031
２ 流動資産	2,512,538
（１）現金及び預金	1,989,360
（２）未収金及び未収収益	511,914
（３）貸倒引当金（△）	12,307
（４）貯蔵品	23,571
３ 繰延資産	-
負債合計	4,676,015
１ 固定負債	2,398,701
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,398,701
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,042,660
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	241,906
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	151,149
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	647,202
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,234,654
（１）長期前受金	2,815,592
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,580,938
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	2,420,647
１ 資本金	1,291,446
２ 剰余金	1,129,201
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	1,129,201
負債・資本合計	7,096,662
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	517,153	329,174
資本勘定繰入	100,331	103,081
計	617,484	432,255

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。